



おひさま

山形市立第五小学校

学校だより

令和8年10月23日

校長

No. 6 太田 千春

協力 挑戦 心を一つに 完全優勝！

10月15日（木）、秋らしい高い青空が広がる絶好の天気の下、令和8年度の運動会が行われました。今年のスローガンは「協力 挑戦 心を一つに 完全優勝！」。実行委員長のA.Fさんを中心に一人一人が役割を担い、仲間と力を合わせて創り上げてきた運動会です。

今年度は、集団活動における自分の役割を考え、意思決定に基づいて行動することができることや、集団への所属感や連帯感をもち、仲間と協力して共通の目標を達成しようとするを主なねらいとしてこの学校行事を行いました。目指す運動会の実現に向け、そして、なりたい自分に近づくために、自分は何に取り組むのかを考えて実践しようとする主体的な姿や、そんな仲間へ刺激を受け、協力してスローガンを達成しようとする協働的な姿をたくさん見ることができました。

運動会当日は、2週間にわたる取組の成果を発揮する舞台でした。子供たち一人一人の真剣な眼差しや笑顔に確かな成長を感じることであった運動会となりました。ご来賓の皆様、保護者・地域の皆様におかれましては、子供たちの活躍に温かいご声援を送っていただきました。また、PTA広報部、母親委員の皆様方には運営にもご協力いただきました。心より御礼申し上げます。



「なりたい自分」に近づくために

9月28日（月）の運動会結団式から2週間余り、4年生以上の子供たちは7つの係に分かれて活動を進めてきました。それぞれの役割を担った子供たちが集団活動における自分の役割を考え、互いの頑張りを認め合いながら取り組んできました。

会場係を務めた6年女児が4月に自分で決めた目標は、「何があっても自分から進み続ける自分」です。その児童は、係活動が終了しても一人でグラウンドに残り、薄くなっているラインを引き直していました。また、運動会当日は、誰よりも早く登校して運動会に使う用具を体育館から運び出していました。なりたい自分に近づこうと精一杯取り組み、あるべき姿を行動で示すとともに、自分の成長を実感することができたように思います。

組幹部

組全体を統率し勝利に向けた士気を高めました。両組で運動会を創り上げようと、互いに協力し合う姿が印象的でした。



学年リーダー

学年部種目や学年部リレーの作戦を考えました。移動や整列などの指示も行い、学年部の活動をリードしました。



実行委員

運動会スローガンの達成に向けて活動全体の進捗状況を把握し、放送やおたよりなどで全校みんなの士気を高めました。



応援団

両組とも完全優勝を目指して応援の方法や内容を工夫しました。互いに心を通わせ、一致団結した応援を創り上げました。



演出

応援旗に描かれた各組のシンボルは、赤組が「シャックス」、白組が「人間くん」。応援グッズの製作も担当しました。



放送

アナウンス原稿を準備し、何度も練習を繰り返していました。選曲したBGMも運動会を活気づけました。



会場整備

グラウンドの石拾いやライン引き、用具の準備や設営、撤収など担当し、各学年の安全・安心な活動を陰で支えました。



歯みがき名人になろう！

10月20日（火）、山形歯科専門学校歯科衛生士の学生さんをお迎えし、第3学年の子供たちが歯科保健指導を受けました。2つの教室に分かれ、よく噛んで食べることの大切さや歯の磨き方の説明を受けた後、個別にブラッシング指導をしていただきました。スタンドミラーで自分の歯の様子をよく観察し、口腔内の状況に合わせて歯の磨き方を考え、ワンクル法での歯磨きを実践しました。乳歯と永久歯の入り混じったこの時期だからこそその難しさもありますが、今後の実践に向けての新たな意欲にもつながったようです。

本校では、給食後の歯磨きについても、本人の意思で取り組むことにしています。家庭での歯磨きも含め、今のうちによりよい生活習慣を身に付け、大切な歯を守っていききたいものです。



第五地区 ふるさと秋祭り開催

9月26日（土）、第五学区子ども会育成連合会の主催による「第五地区 ふるさと秋祭り」が開催されました。天候にも恵まれ、多くの子供たち、保護者・地域の方々が集い、活気にあふれました。

今年度も、山形大学の花笠サークル「四面楚歌」のメンバーをはじめ、ボランティアの学生さんからも参加していただきました。今年度の学校運営協議会では、ウェルビーイングの実現をテーマに掲げ、熟議を重ねております。この秋祭りは、顔の見えるつながりがあり、互いに挨拶を交わることや、温かい見守りや助け合いができる地域でありたいという願いが具現化された一つの姿のように思います。今後も、ワクワクするような楽しい経験が子供と地域、保護者のつながりをより一層深め、第五地区の次代へとつながっていくことを心から願っております。

共催いただいた第五地区各関係団体の皆様をはじめ、運営にご尽力くださった役員の皆様、本当にありがとうございました。

